

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード 341

施策 健康づくりの推進

管理事業 社会福祉事業

1 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 原爆被爆者支援活動補助事業	地域医療推進室	原子爆弾被爆者に対する相談活動、被爆者の生活支援に係る広報活動、被爆者健康診断の援助活動など原子爆弾被爆者支援活動の推進に要する経費の支出額に対して、16万円を限度として補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 160	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	・原子爆弾被爆者の高齢化に伴う健康不安等の諸問題が生じており、引き続き、被爆者の相互支援を目的とした吹田市原爆被害者の会の活動への補助を行っていく必要がある。 ・一方、被爆者の高齢化に伴って、対象者の減少が想定されるため、今後、ふさわしい支援のあり方を考えるに当たって、状況を注視していく必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 原爆被爆者二世支援事業	地域医療推進室	市内に居住する原子爆弾被爆者二世(市民税非課税世帯に属するもののみ対象)に対し、被爆者への健康管理手当の対象と同じ疾病についての医療費の自己負担額の助成等を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 1,011	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	・本事業により、原子爆弾被爆者二世の健康に対する不安を軽減し、健康の保持と福祉の増進を図っていくことは重要であり、引き続き、実施していく必要がある。 ・一方、長期的な視点で本事業を捉えた場合、今後、被爆者二世の高齢化に伴って、申請者数や医療費助成額の増加が予想されるため、継続して状況を注視していく必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③			
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円)	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④			
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円)	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤			
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円)	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥			
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円)	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■		

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課